令和８年度草の根無償資金協力
①　「ディエンビエン省サズン村多目的避難施設建設計画」

１．　案件概要

ディエンビエン省サズン村のナギウ地区及びハンソンチェン地区の各地区において、多目的避難施設各1棟（鉄筋コンクリート造、1階建て、集会室・調理室・トイレ含む、総面積 177 ㎡）を建設するとともに、ナギウ地区の同施設に隣接する道路整備（計 122m）及び擁壁設置（計 61.5m）を行うことにより、災害時の避難場所の確保を図り、もって地域の災害対応能力の向上に寄与する。

２．対象地域と現状

（1）ディエンビエン省サズン村ナギウ地区及びハンソンチェン地区



（２）ベトナム政府は防災法に基づき、コミュニティハウス等の公共施設を多目的化し災害時には避難所として活用する方針を掲げている。しかし、サズン村（2,757 世帯、15,085 人）は少数民族が 9 割を超える峻険な山間に位置しアクセスも困難であるため、多くの地区において多目的避難施設の整備が遅れている。気候変動による災害リスクが高まる中、2025 年 8 月には長雨により、死者 7 名、住居 47 棟が全半壊する等甚大な被害が発生した。特にナギウ地区（81 世帯、367 人）では避難所だった集会所が河川氾濫で全壊し、高台への施設新設やアクセス道路等の整備が急務である。また、ハンソンチェン地区（51 世帯、265 人）では集会所を含む集落の中心部が山斜面の崩落による土砂災害の危険のため、集落移転の対象となった。この為、隣接するハンソンズオイ地区（62 世帯、409 人）を含むこれらの地区では、災害時の住民の安全な避難所としての機能を備え、かつ平時には防災教育や地域活動など多面的に活用できる多目的避難施設の整備が喫緊の課題となっている。



2025 年大雨による災害で全壊したナギウ地区集会場

３．供与金額　　163,204 米ドル（24,317,396 円）

４．実施団体　ワールド・ビジョン・インターナショナル・ベトナム

令和８年度草の根無償資金協力
②「クアンチ省統合的クラスター弾等除去計画」

１．案件概要

クアンチ省の北部地域（約 8,065 ㎢）のうち、0.2 ㎢の土地の不発弾･地雷の除去、および同地域内約 561 ㎢の範囲の住民を対象に爆発物リスク啓発（EORE）活動を行うことにより、地域住民の生命・安全に対する脅威を軽減し、もって同地域の人間の安全保障及び社会経済的発展に寄与する。

２．対象地域と現状

（１）クアンチ省北部地域

（２）ベトナムでは、終戦から 50 年が経過した現在も国土の約 17%に不発弾や地雷が残存しているとみられている。政府は国家地雷対策センター（VNMAC）を立ち上げ除去活動を進めるものの、単独での完全な処理は困難であり国際協力を呼びかけている。とりわけクアンチ省は国内で最も不発弾が多く、インフラ整備や農地開発が深刻に阻害されている。これまでの同地域の不発弾による犠牲者は約１万５千人にのぼり、その約３割を子供が占めている。また、汚染により農地の生産力が制限されている。被供与団体は 1999 年よりベトナムで活動を開始して以来、不発弾除去やリスク回避の啓発教育を行い成果を上げてきたものの、同省の汚染地域は広大であり、活動を継続するための資金援助を必要としている。





クアンチ省北部で発見した不発弾を運ぶ職員

３．供与金額　149,735 米ドル（22,310,515 円）米ドル

４．実施団体　マインズ・アドバイザリー・グループ・ベトナム